

昨日は
明日の鏡なり
今日を
さわかに
つとめ過さむ

香具はしきこえきくにより咲きし花

微笑みもせむ 実も結びなむ

元氣
清祥

曆

甲午(きのえ・うま) 歳

さはがしき 虫魚のごとき 此の身をば

草木のごとく 安んぜしめむ

論語
法華経
ソクラテス
キリスト

Confucius
Buddha
Socrates
Jesus



平成二十六年(2014年)

吾十有五而志乎学 吾十有五にして学に志す。

三十而立 三十にして立つ。

四十而不惑 四十にして惑わず。

五十而知天命 五十にして天命を知る。

六十而耳順 六十にして耳順う。

七十而从心所欲、不踰矩

七十にして心の欲する所に従つて矩を踰えず。

さんすい てんぐ

山水 天狗

(山川・自然護持の神

|| 天の犬

自然の摂理を信じ、
自分の身を以って、
体験したことを
次世代に伝えたい。



呼吸の心と息と心意気



♪ 心と息と心意気 ♪

呼いて 吸っていますか？

呼吸 (呼気+吸気)

Golden Rule: 自分がしてほしいことを人にしてあげる。

(Do for others what you want them to do for you.)

⇒ 自分がされたくないことは人にしないようにする。

(己所不欲、勿施於人。)

すなわち、呼吸の方向が異なれば、言葉も思考経路も異なる、ということである。

呼吸： 穀物食・忍耐力・マラソン 消化時間 長

吸呼： 肉食・瞬発力・ダッシュ 消化時間 短

♪ 要は植物食と肉食のバランスが大事。♪

平成26年(2014年) 1月

甲午(きのえ・うま)

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

♪ Go Tell Aunt Rhodie ♪

作詞：アイザック・ワッツ (Issac Watts)

作曲：ルソー (Jean-Jacques Rousseau)

Go tell Aunt Rhodie,
Go tell Aunt Rhodie,
Go tell Aunt Rhodie,
Her old gray goose is
dead.

The one she's been
saving,
The one she's been
saving,
The one she's been
saving,
To make a feather bed.

The goslings are dying,
The goslings are dying,
The goslings are dying,
Because their Mama's
dead.

The gander is weeping,
The gander is weeping,
The gander is weeping,
Because his wife is
dead.

Go tell Aunt Rhodie,
Go tell Aunt Rhodie,
Go tell Aunt Rhodie,
Her old gray goose is
dead.

♪ むすんで ひらいて ♪

文部省唱歌

作詞不詳

むすんで ひらいて
手を うって
むすんで

また ひらいて
手を うって
その手を うえに
(したに)

むすんで ひらいて
手を うって
むすんで

♪ みわたせば ♪

1881年

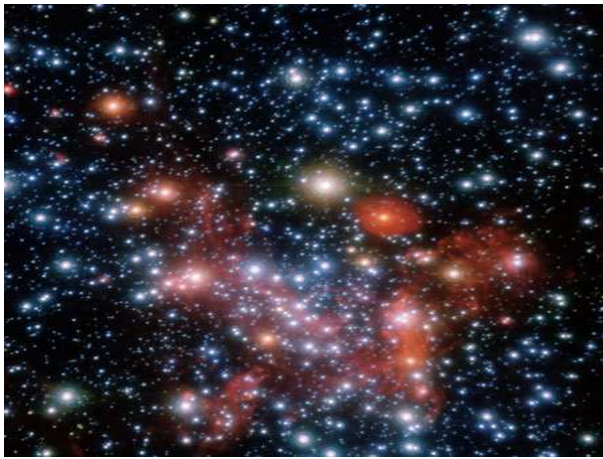
(柴田清熙 作詞)

見わたせば あおやなぎ
花桜 こきまぜて
みやこには みちもせに
春の錦をぞ

さおひめの おりなして
ふるあめに そめにける

(稲垣千穎 作詞)

みわたせば やまべには
おのえにも ふもとにも
うすきこき もみじ葉の
あきの錦をぞ
たつたひめ おりかけて
つゆ霜に さらしける



銀河系の中心部(欧州南天天文台撮影)

天の海に
雲の波を
月の船に
星の林に
こぼれ
見ゆ
えり



三位一体 (TRINITY)

① 心 (主観) ② 技 (客観) ③ 体 (道具)

満杯のコーヒーもこぼれない! 腕前が女前 (男前)!

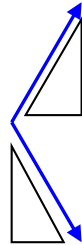
(Handsome is as handsome does!)

団扇や椅子を指先で立てられますか?

(先端から目を離さない)

電車内でもふらつきませんか?

(床・地面から目を離さない。)



心身のバランスのカギは客観力の有無です。

客観する! すなわち、眼でおさえるということ。対象物から眼を離さない。限界点を見切ることです。リモコンの機能を自身で実用することです。

(keep your eye on the ball; the name of the game)

(*勿論、コーヒーを満杯にいれる必要はありませんし、品質のよいお茶、コーヒーなどは、控えめに入れるものです。)

平成 26 年 (2014 年) **2 月**

甲午 (きのえ・うま)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

♪ What a Friend We Have in Jesus ♪

words: Joseph Scriven, 1855. 耶穌, 我的好朋友
music: Charles Converse, 1868

What a Friend we have in Jesus,
All our sins and griefs to bear!
What a privilege to carry
Everything to God in prayer!

O what peace we often forfeit,
O what needless pain we bear,
All because we do not carry
Everything to God in prayer.

Have we trials and temptations?
Is there trouble anywhere?
We should never be discouraged;
Take it to the Lord in prayer.

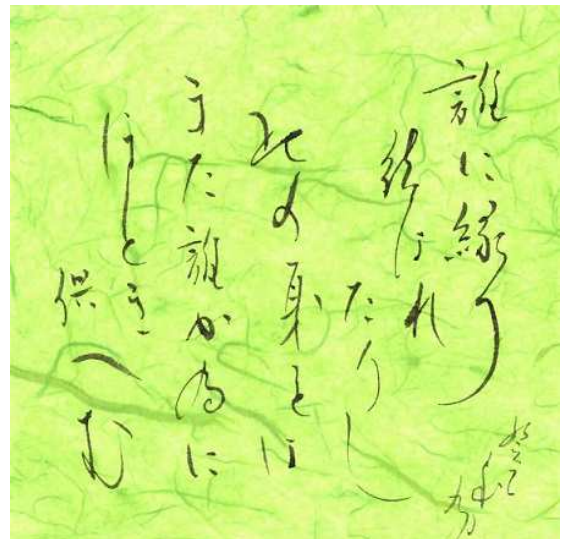
Can we find a friend so faithful
Who will all our sorrows share?
Jesus knows our every weakness;
Take it to the Lord in prayer.

♪ 星の界 (よ) ♪

作詞 杉谷代水 1910 年
作曲 コンヴァース

月なき み空に、きらめく光、
嗚呼 その星影、希望のすがた。
人智は果(ハテ)なし、無窮の遠(杵)
に、
いざ 其の星影、きわめも行かん。

雲なき み空に、横とう光、
ああ 洋々たる、銀河の流れ。
仰ぎて眺むる、万里のあなた、
いざ 棹させよや、究理の船に。



カタカナ・片仮名
偏旁など、漢字の一部が変形
発展したもの。

ひらがな・平仮名
漢字の行書・草書の変形発展
したもの。

*簡単に類推できる原漢字は省略しています。

阿 ア			江 エ	於 オ	安 あ			衣 え	於 お
	幾 キ	久 ク	介 ケ	己 コ		幾 き	久 く	計 け	
散 サ	之 シ	須 ス		曾 ソ	左 さ	之 し	寸 す		曾 そ
		川 ツ	天 テ	止 ト	太 た	知 ち	川 つ	天 て	止 と
奈 ナ		奴 ヌ	禰 ネ		奈 な	仁 に	奴 ぬ	禰 ね	
	比 ヒ	不 フ	部 ヘ		波 は	比 ひ	不 ふ	部 へ	
末 マ		牟 ム	女 メ		末 ま	美 み	武 む	女 め	
良 ラ		流 ル			良 ら		留 る		
也 ヤ		由 ユ		與 ヨ			由 ゆ		与 よ
和 ワ	井・韋 キ		恵 エ	无 ン	わ	為 ゐ		恵 ゑ	无 ん



平成 26 年 (2014 年) **3 月**

甲午 (きのえ・うま)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

♪ Annie Laurie ♪

music: Lady Scott

words: William Douglas

Maxwelton's braes are bonnie,
Where early falls the dew,
And it's there that Annie
Laurie
Gave me her promise true.

Gave me her promise true,
Which ne'er forgot will be,
And for bonnie Annie Laurie
I'd lay me doon and dee.

Her brow is like the
snowdrift,
Her neck is like the swan,
Her face it is the fairest,
That e'er the sun shone on.

That e'er the sun shone on.
And dark blue is her e'e,
And for bonnie Annie Laurie
I'd lay me doon and dee.

♪ 才女 ♪

『小学唱歌集』

作詞: 不詳 明治 17 年 (1884 年)

かきながせる、
筆のあやに、
そめしむらさき、
世世(33)あせず。

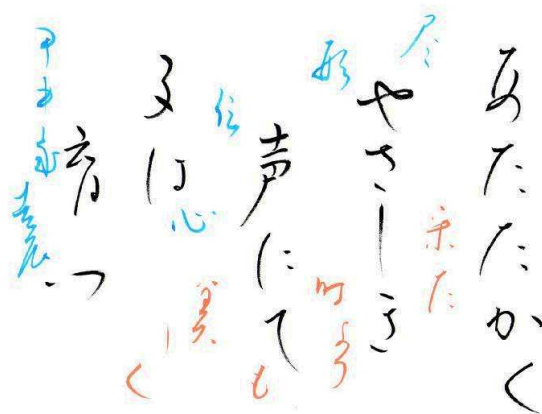
ゆかりのいろ、
ことばのはな、
たぐいもあらし、
そのいさお。

(紫式部)

まきあげたる、
小簾(34)のひまに、
君のころも、
しら雪や。

廬山の峯、
遺愛のかね、
めにみるごとき、
その風情。

(清少納言)



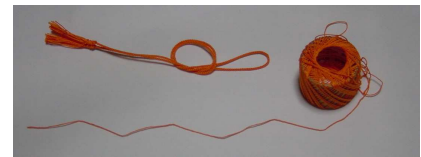
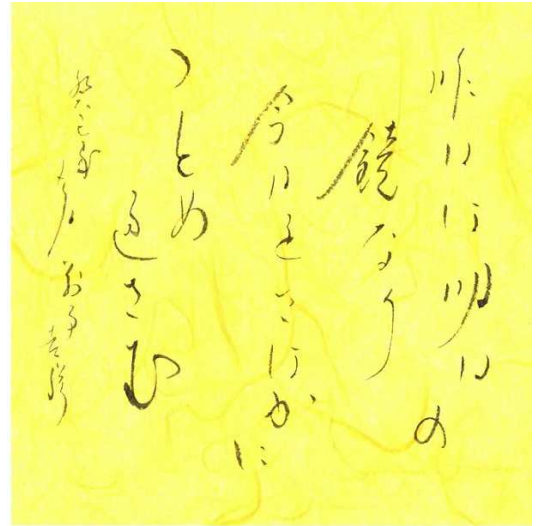
字の結構・構築のポイントは **偏旁(へん・つくり)**
 偏旁を理解して、組み合わせてゆけば、漢字はどんなに複雑になっても、正確に書けて、楽しくなります。

衣	哀 口衣	衷 中衣	衰 ロ一衣	表 土衣	裏 里衣
裏 口口=ハ	讓 言裏	嬢 女裏	壤 土裏	醜 酉裏	囊 中一裏
愛 爪 一中心文	憂 一自 一中心文	寡 一 一自一分	夏 一自 一文	変 亦 一文	恋 亦 心
鑿 業臼爰金	鬱 木木木四良寸	鬱 木缶木一凶、、、、七彡			

温故知新の姿勢で、漢字の数千年の発展変遷を味わいながら、現代から未来へ伝えてゆければ、すばらしいことだと思われます。「書」の心の淵源と、その意義もここに発すると思われます。

平成 26 年 (2014 年) 4 月						
甲午 (きのえ・うま)						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

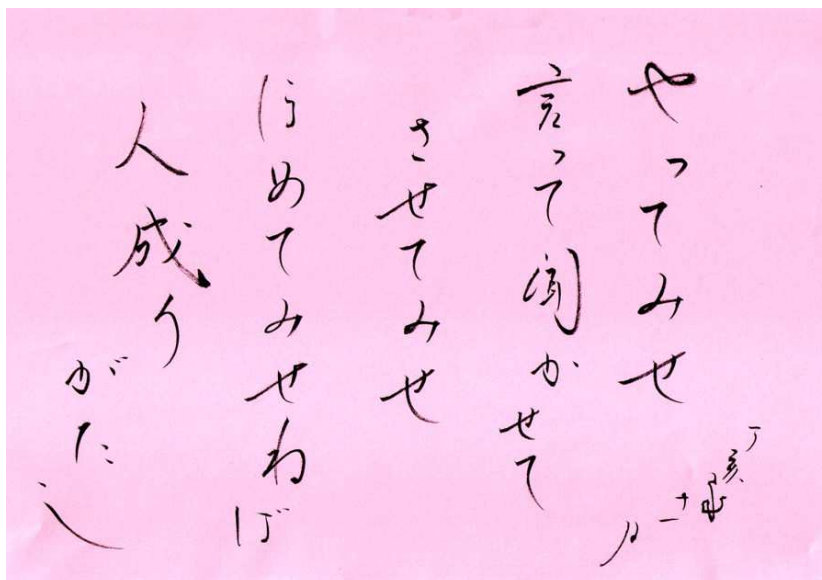
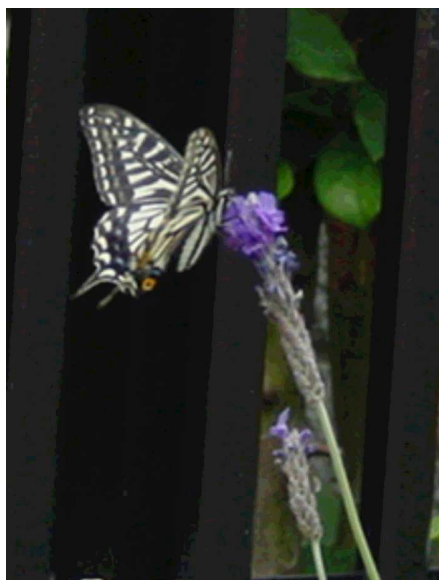
♪ Lightly Row ♪		スペイン民謡	
Lightly Row, lightly row, O'er the shining waves we go!	Let the winds and waters be, still and calm and clear to see.	♪ 蝶々 ♪	
Smoothly glide, smoothly glide, on the silent tide.	Drift and float, drift and float inside our little boat.	作詞 野村秋足	作詞 稲垣千穎
		ちようちよう ちようちよう。 菜の葉にとまれ。 菜の葉に飽いたら、 桜にとまれ。 さくらの花の、 さかゆる御代に、 とまれよ 遊べ、 遊べよ とまれ。	起きよ おきよ。 ねぐらのすずめ。 朝日の光の、 さし来ぬさきに。 ねぐらを出でて、 こずえにとまり、 遊べよ すずめ、 歌えよ すずめ



うっかり言い間違ったり、読み間違ったりする言葉	うっかり書き間違える言葉	漢字になると読めない言葉
焼けぼっ栗に火がつく	片肘張る	心寂しい
嗜好を凝らす	有頂点	生憎
肩を撫で下ろす	大見栄を切る	草臥れる
金(きん)の草鞋	興味深々	芝居擬
素人はだし	心気一転	兎に角
寸暇を惜しまず	新規巻き直し	鎬をけずる
語学に堪能(たんのう)だ。	一睡の夢	土壇場
間髪(かんぱつ)を入れず	食事療法	挙句・揚句
正答は裏面にあります。		

平成 26 年 (2014 年) 5 月						
甲午 (きのえ・うま)						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

♪ The Golden Rule ♪	♪ 灯台守 ♪	♪ 旅泊 ♪
イギリス民謡：1881年、ニューヨークで出版されたスクールソング・賛美歌集	作詞：勝 承夫	作詞：大和田建樹 1889年(明治22年)
The golden rule, the golden rule, Oh, that's the law for me; Were this the law for all the world, How happy we should be!	こおれる月かげ 空にさえて ま冬の荒波 寄する小島(オゾマ) 思えよ灯台 守る人の 尊きやさしき 愛の心	磯の火ほそりて、 更くる夜半に 岩うつ波音、ひとりたかし かゝれる友舟、ひとは寝たり たれにかかたらん、旅の心
<i>The golden rule, the golden rule, Oh, that's the law for me; To do to others as I would That they should do to me.</i>	はげしき雨風 北の海に 山なす荒波 たけりくるう その夜も灯台守る人の 尊き誠よ 海を照らす	月影かくれて、 からす啼きぬ 年なす長夜も、あけにちかし おきよや船人、をちの山に 横雲なびきて、今日ものどか



雨ニモマケズ
 雪ニモ 夏ノ暑サニモマケズ
 東ニ病氣ノコドモアレバ
 西ニツカレタ母アレバ
 南ニ死ニソウナヒトアレバ
 北ニケンクワヤソシヨウガアレバ
 ツマラナイカラヤメロトイヒ
 コハガラナクテモ イイトイヒ
 行ツテ 看病シテヤリ
 行ツテ ソノ稲ノ束ヲ負ヒ
 ホメラレモセズ クニモ サレズ
 サウイウモノニ ワタシハ ナリタイ

平成 26 年 (2014 年) 6 月

甲午 (きのえ・うま)

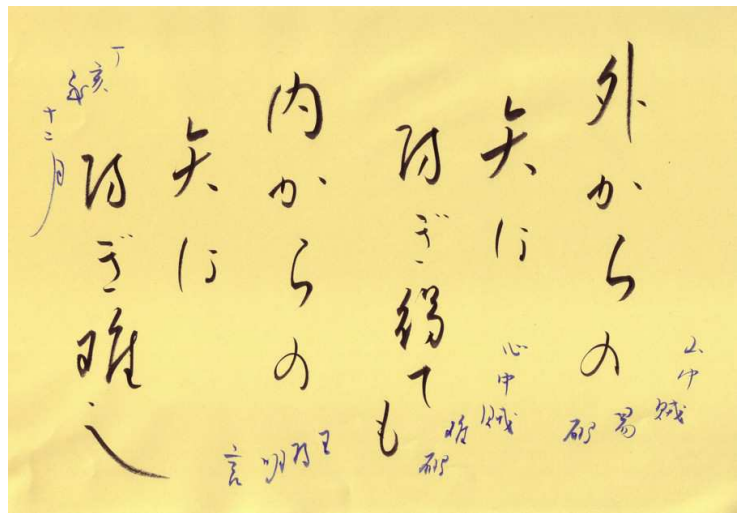
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

♪ John Brown's body ♪	Battle Hymn of the Republic	♪ オタマジヤクシはカエルの子 ♪
music/words: a famous Union marching song of the American Civil War		作詞: 永田哲夫
<p>John Brown's body lies a-moldering in the grave, John Brown's body lies a-moldering in the grave, John Brown's body lies a-moldering in the grave, But his soul goes marching on.</p> <p><i>Glory, glory, hallelujah!</i> <i>Glory, glory, hallelujah!</i> <i>Glory, glory, hallelujah!</i> His soul goes marching on !</p>	<p>He captured Harper's Ferry with nineteen men so true, He frightened old Virginia till she trembled through and through, They hanged him for a traitor, they themselves the traitor crew, But his soul goes marching on.</p> <p>He's gone to be a soldier in the army of the Lord, He's gone to be a soldier in the army of the Lord, He's gone to be a soldier in the army of the Lord, And his soul is marching on.</p>	<p>おたまじゃくしは 蛙の子 なまずのまごでは ないわいな それがなにより 証拠には やがて手が出る 足が出る</p> <p>でんでんむしは かたつむり さざえのまごでは ないわいな それがなにより 証拠には つぼ焼きしょうにも 蓋がない かげにゆらゆら すすきのほ ほうきのまごでは ないわいな それがなにより 証拠には すすきでどらねこ どやされぬ たこ入道は やつつあし いかのあにきでは ないわいな それがなにより 証拠には いかにはちまき できやせぬ</p>

平成 26 年 (2014 年) 7 月

甲午 (きのえ・うま)

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



Get the scales to fall from your eyes. Openn your eyes

眼からウロコを落とす。 [ACTS 9]

Don't let appearances deceive yourself. Try to look and you can see it.

外面に騙されないように。 見ようとすれば見えます。

o	p	e	+ n	o	p	e	n
hole	opt/photo	eye		look	pupil	see	
穴	光	眼	(目を開く)	みる	瞳(晴)	見える	

言葉の音も形も、人間の感情を根本として発生展開して来ています。

洋の東西を問いません。 Where's Wally? ウォーリーを探せ!

(どこに目に関する「キー文字」が隠れているでしょう?)

(o p e a = p / b / v / w observe > vision > watch > wise)

目 > 月 > 皿 > 皿 > 耳

見 望む・期す 監督 夢 視聴者
look, see, hope, expect, oversee(= supervise), dream, audience, aural



♪ Goin' home ♪

"Goin' Home" ("New World" Symphony, by Antonin Dvorak)
"Goin' Home", the spiritual based on the Second Movement of Dvorak's Symphony No. 9 ("From the New World") has often been requested at funerals. It is probably second only to "Amazing Grace" for that solemn occasion.

Goin' home, goin' home, I'm a goin' home;
Quiet-like, some still day, I'm jes' goin' home.
It's not far, jes' close by, Through an open door;
Work all done, care laid by, Gwine to fear no more.
Mother's there 'spectin' me, Father's waitin' too;
Lots o' folk gather'd there, All the friends I knew,
All the friends I knew.

♪ 「家路」 ♪

ドボルザーク作曲 (「新世界から」より)
作詞 野上彰

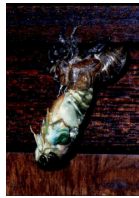
遠き山に 日は落ちて
星は空を ちりばめぬ
きょうのわざを
なし終えて
心軽く 安らえば
風は涼し この夕べ
いざや 楽しき
まどいせん
まどいせん

やみに燃えし
かがり火は
炎(ホノ)今は
鎮(シヅ)まりて
眠れ安く いこえよと
さそうごとく
消えゆけば
安き御手に 守られて
いざや 楽しき
夢を見ん 夢を見ん

平成26年(2014年) **8月**

甲午(きのえ・うま)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30



赤心しかり
人ひ
く
みる竹は
り
る
う
す
に

英米音楽を原曲とする唱歌が、150年近くも日本人の心に溶け込んでいることをはっきりと認識すれば、英米語も日本語も、本来、同じ人類の言葉であることに気づく。したがって、日本語を英米人が発音するようにして、発音すれば、英米語だけでなく、あらゆる言語に、共通する子音・母音・音節があることがわかって、習得する上で、何の困難や障害も感じなくなる。(皮膚の色は異なっても、血液は同じ色、外見に騙されないようにしたい。)

日本語	ローマ字	英語	日本語	ローマ字	英語
音	oto	tone	声	koe	echo
声音	seion	sound	拝	hai	hi
黄金	ougon	gold	お転婆	otemba	tomboy
銀	sirogane	silver	思想	shisou	thought
晴れるや	hareruya	hallelujah	ひいら(ぎ)	hiira	holly
百合	yuri	lily	桜	sakura	sacrament
魔物	mamono	monster	転	ten	turn
歩く	aruku	walk	聖	sei	saint
くっきり	kukkiri	clear	私	shi	se / self
きたない	kitanai	dirty	駄目!	Dame!	Damn!
鋭い	surudo	shrewd	停(滞)	tei(tai)	stay
弟子	deshi	disciple	ダルイ	darui	dull

♪ Home! Sweet Home! ♪

music: Henry Rowley words: Bishop John Howard Payne

'Mid pleasures and palaces
though we may roam,
Be it ever so humble, there's
no place like home.
A charm from the skies seems
to hallow us there,
Which, seek thro' the world,
is ne'er met with elsewhere.
Home, home, sweet, sweet
home,
There's no place like home,

An exile from home
splendour dazzles in vain
Oh, give me my lowly
thatch'd cottage again!
The birds singing gaily
that came at my call
Give me them with the peace
of mind dearer than all.
Home, home, sweet, sweet
home,
There's no place like home,

♪ 埴生(はにふ/はにゆう)の宿 ♪

作詞: 里見義 1889年

埴生の宿も
我が宿
玉の装ひ 羨まじ

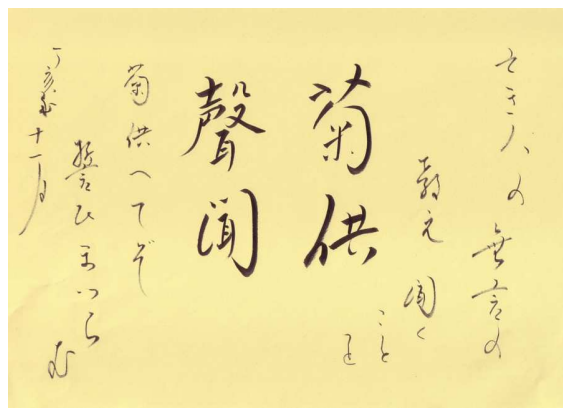
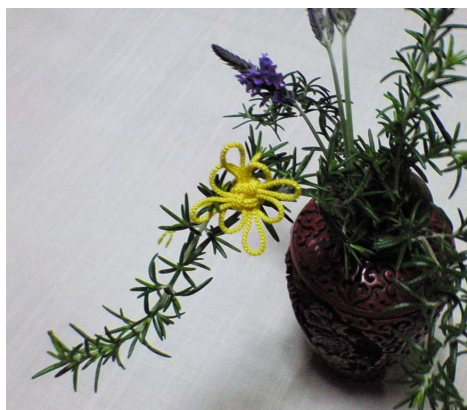
長閑也(バカ)や
春の空
花はあるじ 鳥は友

おゝ 我が宿よ
たのしとも
たのもしや

書(マ)読む窓も
我が窓
瑠璃の床も 羨まじ

清らなりや
秋の夜半
月はあるじ むしは友

おゝ 我が窓よ
たのしとも
たのもしや



There's no place like home.

There's no place like home.

一期一会・一所懸命

死なぬ人はいないが、「善き」死に方を知ろうと努める人、知っている人は極めて少ないものである。

死人を出さぬ家は無いが、死人を心から悼む家は少ない。

とすれば、勇気という言葉は何のために存在するのであるうか。

少年よ、大志を抱け

青年よ、大志を磨け

壮年よ、大志を忘れず 初心にもどれ

熟年よ、大志を完遂するために 死力を尽せ

瞬く間 この半生は 過ぎ去りぬ

残りし時間 さぞ飛び去らむ

過去の数十年間は一瞬にして過ぎ去った。以後の年月は飛び行く如しであろう。心して一日一日を悔いの無いように自身の足を確かめながら、送って行きたいものである。

平成 26 年 (2014 年) 9 月

甲午 (きのえ・うま)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

♪ Long Long Ago ♪
words: Thomas Haynes Bayly

Tell me the tales that to me
were so dear,
Long, long ago, long, long
ago.
Sing me the songs I
delighted to hear,
Long, long ago, long ago.
Now you are come all my
griefs are removed.
Let me forget that so long
you have roved,
Let me believe that you love
as you loved,

Then to all others my
smile you preferred,
Love, when you spoke, gave
a charm to each word.
Still my heart treasures
the praises I heard,
Long, long ago, long ago.

Tho' by your kindness my
fond hopes were raised,
Long, long ago, long, long
ago.
You by more eloquent lips
have been praised,
Long, long ago, long ago.

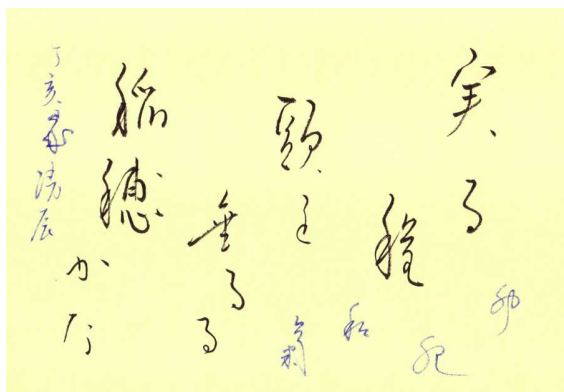
♪ 思い出 ♪ 作詞：古関吉雄
(久しき昔) 訳詞：近藤朔風

垣に赤い花さく
いつかのあの家
ゆめに帰るその庭
はるかなむかし
鳥のうた木々めぐり
そよかぜに花ゆらぐ
なつかしい思い出よ
はるかなむかし

白い雲うかんでた
いつかのあの丘
かけおいた草のみち
はるかなむかし

語れ 愛でし真心 久しき昔の
歌え 床し調べを 過ぎし昔の
汝(なれ)帰りぬ ああうれし
永き別れ ああ夢か
愛ずる思い変わらず
久しき今も
逢いし 小径忘れじ 久しき昔の
な忘れそと告げたる過ぎし昔の
汝がえまい 人にほめ
汝が語る 愛に酔う
やさし言葉なお胸に
久しき今も

いよ燃ゆる情(こころ)や
久しき昔の



<p>Long, long ago, long ago. Do you remember the paths where we met? Long, long ago, long, long ago. Ah, yes, you told me you never would forget, Long, long ago, long ago.</p>	<p>But by long absence your truth has been tried, Still to your accents I listen with pride, Blessed as I was when I sat by your side, Long, long ago, long ago.</p>	<p>あの日の歌うたえば 思い出す青い空 なつかしいあの丘よ はるかなむかし</p>	<p>語る面(おも)は床しや 過ぎし昔の 永く汝(なれ)と 別れて いよよ知りぬ 真心 ともにあらば楽しや 久しき今も</p>
---	--	--	---

「黄金律」 the Golden Rule

「黄金律」と呼ばれる尊い教えがあります。イエスの真心の発露と言われ、二千年に亘って、西洋世界の良心ある人々の琴線を共鳴させ、清澄の旋律を奏でてきました。「自分がしてほしいことを他人にしてあげなさい」と説かれた、極めて素朴な戒律です。少し畏まって言えば、「積極的に善を行うことは『平和な世界』を創造するための最も基本の行為である」ということになるのでしょうか。

一方、東洋においても、この教えと符節を合わせたかの如き、孔子の誠実な教えが、争いの無い『安穩な世界』を護持しようと努めて来た人々の心底に金科玉条として秘蔵されて来ました。それが、「己れの欲しないことを他の人々にしないように」という戒めです。己に出来得る限り、悪を抑制しようと努力する不退転の訓戒律とも言えます。

このように東西世界の根本的な倫理規範が、昼夜めぐりて、月日を重ね、表裏一体、左右の掌を合することく、あらゆる人々に「平和と安穩」の大切さを感じみじみと認識させて来た結果、今日の世界が辛うじて存在しているのでしよう。

たなごころ わがまごころの 住めるなむ

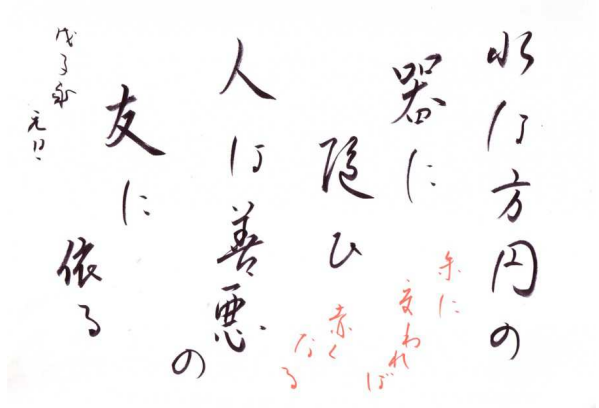
今日は、元気ですか？
How are you **today**?

さよなら、また会いましょう。
See you again **if it's so**.

孤掌難鳴、和以爲貴。

5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

<p>♪ The Last Rose of Summer ♪ (夏の名残りのバラ / 夏日最后的玫瑰) music: アイルランド民謡 words: T. Moore</p>		<p>庭の千草 1884 作詞: 里見 義</p>
<p>'Tis the last rose of summer, Left blooming alone;</p>	<p>I'll not leave thee, thou lone one, To pine on the stem;</p>	<p>So soon may I follow, When friendships decay,</p>
<p>庭の千草も 虫の音も 枯れて淋しく なりにけり</p>		



All her lovely companions
Are faded and gone;
No flower of her kindred,
No rosebud is nigh,
To reflect back her blushes,
Or give sigh for sigh.

Since the lovely are sleeping,
Go sleep thou with them.
Thus kindly I scatter
Thy leaves o'er the bed
Where thy mates of the garden
Lie scentless and dead.

And from Love's shining circle,
The gems drop away!

When true hearts lie withered,
And fond ones are flown,
Oh! Who would inhabit
This bleak world alone?

あゝ 白菊 あゝ 白菊
ひとり遅れて 咲きにけり
露にたわむや 菊の花
霜におごるや 菊の花
あゝ あわれ あわれ
あゝ 白菊
人の操も かくてこそ

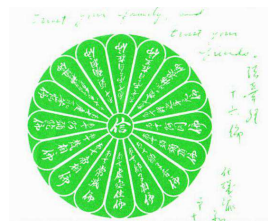
「切り花」と「生け花」のこと

供華（くうげ）は今日の華道の根本であり、一枝一輪をもって故人の供養莊嚴をその目的とします。しかし、現に生きている花を切つて供えることは、如何に理屈をつけても、花の命を殺すことにはかならない。しかしながら、人間の情として、花を飾ることは、食物が肉体を維持する為に不可欠であると同様に、精神・情緒の安定には必須の営みのように思えます。

したがって、積極的に作用する立場の人間が、植物の立場になつて、その栽培成長の手助けをして、その返報としての一枝一輪を剪定利用させてもらう、という心掛けの内におみ、「殺生」を転じて「共生」に至る平和共存への道があるかもしれません。

その具体的作法としては、各家庭の仏壇内の香炉で、故人の供養のために抹香・線香等を焚き、また床の間などで、家内の安全祈念・精神の鎮静のために香を焚いたあとに残る香灰を草木の肥料（こえ）として、施すという、古き善きしきたりがあります。

すなわち、香炉の灰は常に七、八分目に保ち、余分の灰は庭木、鉢植えの草木の根元に埋めて草木供養の教えに順う。灰は肥料になり、生長した草木の枝葉を折々に、剪定整枝した分を供えることにより、初めて、「切り花」でなく「生け花」となるといえるのかもしれない。



平成 26 年 (2014 年) 11 月

甲午 (きのえ・うま)

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

♪ Dreaming of Home and Mother ♪
music / words: John P. Ordway

长亭外古道边

♪ 旅愁 ♪ 1907
作詞：犬童球溪

Dreaming of home, dear old home!
Home of my childhood and mother;
Oft when I wake 'tis sweet to find,
I've been dreaming of home and mother;
Home, dear home, childhood's happy home,
When I played with sister and with
brother,
'Twas the sweetest joy when we did roam,
Over hill and thro' dale with mother.

Sleep balmy sleep, close mine eyes,
Keep me still thinking of mother;
Hark! 'tis her voice I seem to hear.
Yes, I'm dreaming of home and mother.
Angels come, soothing me to rest,
I can feel their presence and none
other;
For they sweetly say I shall be blest;
With bright visions of home and
mother.

更け行く秋の夜、旅の空の、
わびしき思いに、ひとりなやむ。
恋しやふるさと、なつかし父母、
夢路にたどるは、
故郷(サト)の家路。

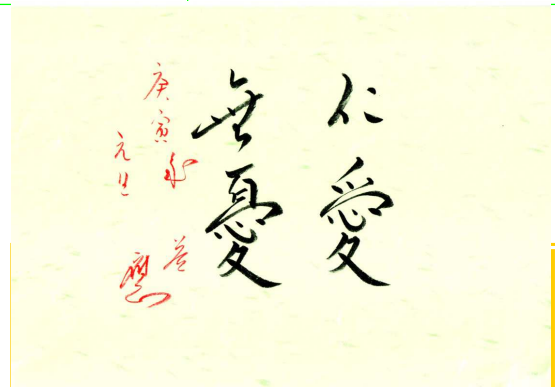
*Dreaming of home, dear old home,
Home of my childhood and mother;
Oft when I wake 'tis sweet to find,*

Childhood has come, come again,
Sleeping I see my dear mother;
See her loved form beside me kneel
While I'm dreaming of home and mother.
Mother dear, whisper to me now,
Tell me of my sister and my brother;
and upon my brow,
of home and mother.

更け行く秋の夜、旅の空の、
わびしき思いに、ひとりなやむ。
窓うつ嵐に、夢もやぶれ、
遙けき彼方に、心まよう。
恋しやふるさと、なつかし父母、
思いに浮かぶは、
杜(モリ)のこずえ。
窓うつ嵐に、夢もやぶれ、
遙けき彼方に、心まよう。

今日一日を真面目に生きることがはむつかしい。少しでもそのように努力す
れば、自分自身も気持ちが良いし、周りの人々も喜んでくれるだろう。
このような人こそ、周りの人々に尊重されるものだ。ほんとうに勇気があ
って、勤勉に働く人だと言えよう。
正しく自分を律し、質素儉約を旨としているので、自然に、人生の真の喜
び、生きがいを得ることができる。
未来を見つめて、今日一日を勤め励む人こそが人間として、我欲・貪欲に
さいなまれることのない安らかなで平和な境地に住むことができる。
敬愛する大切な人が亡くなった後、その人の教えや行いを守って少しも粗
末にしない人こそが、また、後に続く人々を導く先達となり得よう。
このような人はたとえ、理不尽でひどい環境にあっても自分の良心の声に
従って、弛まず努力を続けるので、周りの人々は敬まって、大切にせず
はいられないのである。

宮澤賢治「雨ニモ負ケズ」に捧げる文



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

草花 丹精撮影 (by haruno)



<p>♪ Auld Lang Syne ♪ 友谊地久天长 music: Scottish folk song / words: Robert Burns</p>		<p>♪ 「蛍」 ♪ 小学唱歌集初編 1881年 作詞：稲垣 千穎(カイ)</p>	
<p>Should auld acquaintance be forgot, And never brought to min' ? Should auld acquaintance be forgot And days of auld lang syne?</p>	<p><i>For auld lang syne, my dear, For auld lang syne, We'll tak a cup o' kindness yet, For auld lang syne.</i></p>	<p>ほたるのひかり、 まどのゆき、 書(フミ)よむつき日、 かさねつゝ、 いつしか年も、 すぎのとを、 あけてぞけさは、 わかれゆく。</p>	<p>とまるもゆくも、 かぎりとて、 かたみにおもふ、 ちよろづの、 こころのはしを、 ひとことに、 さきくとばかり、 うたふなり。</p>